

1. 基本情報

- テスト日：2026年5月22日
- サーキット名：十勝スピードウェイ
- 車両：YarisCup #5
- エンジン仕様：M15A-FKS (1.5L)
- 使用オイル：MIDLAND Walter SN PLUS 020 TYPE-B +ADD10(添加剤)
- 粘度グレード：0W-20
- 添加剤配合率：8.5%
- 比較対象オイル：MIDLAND Walter SN PLUS 020 TYPE-B (添加剤なし)
- 気温／路面温度：13°C/43°C
- 走行内容 (周回数)：スポーツ走行25分×2回
- 1本目は添加剤なし 11周 BestLap 1:44.22s
- 2本目は添加剤あり 13周 BestLap 1:44.24s

2. 総合評価 (サマリー)

今回は添加剤の有無をテストしましたが、官能・タイム共に明確な有意差は感じられませんでした。(ドライバーのセンサー感度が低く申し訳ございません。)

総合評価としては前回の鈴鹿テストと同じく、十勝テストでも中低速トルクの太さは感じられ、これまで使用していたオイルに対してアドバンテージを感じました。

3. フィーリング評価 (ドライバーインプレッション)

■低速域 (～5750rpm)

- トルク感：高い
- スロットル応答：良い
- コメント：4コーナーの3速低回転からの加速が良い。

■中速域 (5750～6250rpm)

- 加速のつながり：良い
- エンジンの滑らかさ：普通
- コメント：この領域も力強く加速していく。

■高回転域 (6250rpm以上)

- 回転上昇の軽さ：普通
 - 伸び感：普通
 - 頭打ち感の有無：普通
 - コメント：ホームストレートがこの日は向かい風だった影響もあり、最高速は同気温の昨年テストと比べて、2~3km/h遅いシーンあり。
-

4. パフォーマンス評価 (客観要素)

- ベストラップ：1:44.24s
- 最高速：173km/h

※ZAHRENオイル使用時の最高速は178km/h(外気温3°C低い状態)

5. 耐久性・安定性評価

- 連続周回時のフィーリング変化：判断難しい (水温・吸気温寄与高い)
 - 油温上昇時の挙動：油温センサー非搭載
 - フィーリングの一貫性：一貫性あり
 - 消耗・劣化の印象：テスト後のレースを通して劣化なし。
-

6. コース適性評価

コメント：鈴鹿だけでなく、十勝でも中低速トルクが太い点はアドバンテージが多い、MIDLAND Walter SN PLUS 020 TYPE-Bの方向性は優位性があると考えられる。

7. 改善提案・開発フィードバック

- 次戦は8月となるため、高気温が予想されます。その際に粘度含めてどういった仕様がよいかという観点でもテストを進められると幸いです。
-

9. その他

今回、十勝スピードウェイで行われたヤリスカップ北海道シリーズ第1戦で初優勝を飾ることができました。ありがとうございます。引き続きよろしくお願いいたします。